

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和2年11月24日

計画名称	鯉ヶ沢町地域振興と安全で安心な都市公園づくり														
計画の期間	平成30年度（1年間）					交付対象	鯉ヶ沢町								
計画の目標	<p>はまなす公園は、昭和57年4月に開設し、海水浴場を併設していることから、夏季には町内外から多くの海水浴客で賑わうなど、町の地域振興を担う重要な都市公園となっている。</p> <p>本公園は開園から30年以上経過しており、公園施設の老朽化も著しく、公園利用者の安全への懸念とともに、公園利用者の高齢化などによるバリアフリー化への要望も相次いでいる。</p> <p>本公園の整備は、都市公園の適正な管理による公園利用者の安全と安心の確保や、高齢者や障害者を含め誰もが快適に利用できる公園環境づくりに寄与するとともに、レジャーや憩いを通じた利用者の福祉の充実を図るものである。</p>														
計画の成果目標（定量的指標）	公園施設のバリアフリー化を推進し、はまなす公園利用者の増加を図る。公園施設利用者数を121千人/年（H28）から135千人/年（H31）に増加。														
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況地及び目標値			備考			
									当初現況値 (H28実績)	中間目標値	最終目標値 (H31末)				
	公園施設利用者数について、海水浴開場期間中(7月中旬から8月中旬)の実数で把握する。								121千人/年		135千人/年				
全体事業費	合計 (A+B+C)	30百万円	A	30百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)		0%				
事後評価（中間評価）															
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期															
事後評価（中間評価の実施体制）								事後評価の実施時期							
本町政策推進課において事後評価を実施								令和2年11月							
								公表の方法							
								鯉ヶ沢町ホームページにて公表							
1. 交付対象事業の進捗状況															
<p>交付対象事業</p> <p style="text-align: right;">上段（計画） </p> <p style="text-align: right;">下段（実施） </p>															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	H32	H33	H34		
A-1	公園	一般	鯉ヶ沢町	直接	鯉ヶ沢町	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(はまなす公園)	サニタリー棟72.21㎡、園路50m	鯉ヶ沢町						30	
合計															
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	H32	H33	H34		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	H32	H33	H34		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		既存施設の老朽化が著しいトイレ棟を撤去し、それに代わるバリアフリー等の機能を集約した「サンタリー棟」を新設したことにより、公園利用者の安全・安心を確保した。		
II 定量的指標の達成状況	最終目標値	135千人	目標値と実績値 に差が出た要因	長期間に渡る悪天候の影響で海水浴場での遊泳禁止の日数が多くなり利用客が減少した。
	最終実績値	98千人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項 (今後の方針等)				
策定した長寿命化計画に基づき適正な維持管理を行い、高齢者や障害者を含め誰もが快適に利用できる公園環境づくりを目指す。				